



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 横浜冷凍株式会社

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部 部長

(氏名) 鈴木 大介

TEL 045-210-0011

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	103,936	21.1	3,351	5.3	3,377	1.9	2,033	0.8
25年9月期第3四半期	85,831	2.9	3,183	152.4	3,314	131.7	2,016	299.8

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 2,197百万円 (△30.5%) 25年9月期第3四半期 3,163百万円 (471.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	39.29	34.40
25年9月期第3四半期	38.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	114,186	59,691	51.5	1,136.42
25年9月期	97,593	58,159	59.1	1,114.84

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 58,805百万円 25年9月期 57,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年9月期	—	10.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	9.5	4,500	20.7	4,500	18.2	2,500	8.3	48.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	52,450,969 株	25年9月期	52,450,969 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	704,452 株	25年9月期	703,823 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	51,746,793 株	25年9月期3Q	51,747,879 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、4月からの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減はあったものの、設備投資の増加や個人消費が底堅く推移するなど、概ね堅調に推移しました。一方、世界経済をみると、米国は企業部門の業績回復や雇用情勢の改善により緩やかな拡大基調が続きましたが、欧州経済のデフレ懸念や新興国経済の成長鈍化といった依然として不透明さを残した経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、平成23年10月にスタートさせました第四次中期経営計画(3ヵ年)が当期で最終年度を迎え、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づく業績向上に向けた各施策に注力しております。

冷蔵倉庫事業は昨年までの高在庫状態は解消され、在庫水準は落ち着きを見せており、荷動きも活発になってきました。食品販売事業は水産品・畜産品ともに相場が一昨年の大幅な下落からの反転により、主力商材についてはおしなべて高値推移が続く難しい相場環境となっています。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高103,936百万円(前年同期比21.1%増)、営業利益3,351百万円(前年同期比5.3%増)、経常利益3,377百万円(前年同期比1.9%増)、四半期純利益2,033百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

(冷蔵倉庫事業)

当期は期初から荷動きが活発に進み、在庫回転数も向上してきました。3年前にスタートさせました「物流アウトソーシングサービス」は物流センターのコア業務として定着し、着実に業績に貢献しております。また、期初に独立・設置した「物流通関部」は着実に通関収入を増加させ、業績に寄与しております。一方で、当期中に竣工したタイ国ワンノイ物流センター2号棟および石狩第二物流センターの両センターは順調に稼働していますが、立ち上がりの諸経費や減価償却費の増加はセグメント利益の減少要因となっています。

貨物取扱量の状況は、入庫取扱量は約18千トンの増加(前年同期比2.1%増)、出庫取扱量は約10千トンの増加(前年同期比1.1%増)、減少傾向にあった平均保管在庫量も歯止めがかかり約9千トンの増加(前年同期比0.4%増)に転じました。また、タイ国の連結子会社タイヨコレイ㈱は、クーデターの影響も最小限に止まり、現地の旺盛な低温物流ニーズを取り込み増収となりましたが、ワンノイ物流センター2号棟の新設稼働に伴う経費負担増の影響で減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高は16,562百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は3,919百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

(食品販売事業)

水産品は、期初から続く高値相場において、一部に価格が下落する商材も出てくる中で堅実な販売に取り組み、総体の取扱数量は前期比3.8%の減少ながらも増収増益となりました。個別商材で見ますと、ホタテは引き続き良好な販売環境のもとで取扱量が増加し大幅な増収増益、カニ類も取扱量は前年並みながら適時な買付により大幅な増収増益となりました。サバは魚価が回復し、売上は横ばいながら増益となりました。しかし、エビは期初から高値で推移してきましたが、春先より軟化してきた相場の影響を受け増収減益となりました。鮭鱒類は、取扱量が大幅に増加し水産品の増収には寄与しましたが、利益率は低く減益となりました。ウナギは、5年振りのシラス豊漁による先安観から相場が下落する展開の中で、増収減益となりました。畜産品は、適正な在庫水準堅持のもと回転率重視の販売に取り組み、増収増益となりました。特にポークは伝染病で世界的に供給不足となる中、大幅な増収増益となり畜産品の業績を牽引しました。農産品は、前年並みの売上で推移しましたが、馬鈴薯、玉葱の利益率改善により増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高は87,350百万円(前年同期比25.2%増)、営業利益は955百万円(前年同期比42.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ16,593百万円増加し、114,186百万円となりました。これは主に有形固定資産が10,077百万円、商品が4,004百万円、受取手形及び売掛金が2,748百万円増加したことや、有価証券が2,000百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ15,061百万円増加し、54,495百万円となりました。これは主に借入金が増加した10,062百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,531百万円増加し、59,691百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ1,238百万円減少の4,921百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,632百万円の資金の減少(前年同四半期は7,695百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益3,377百万円、減価償却費2,759百万円による資金増加と、たな卸資産の増加額3,951百万円、売上債権の増加額2,740百万円及び法人税等の支払額2,180百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,632百万円の資金の減少(前年同四半期は2,424百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出6,475百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、8,952百万円の資金の増加(前年同四半期は5,488百万円の資金の減少)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額10,058百万円による資金の増加と、配当金の支払額1,034百万円による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、「平成25年9月期 決算短信」(平成25年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,159	4,921
受取手形及び売掛金	16,035	18,784
有価証券	2,000	—
商品	14,177	18,181
繰延税金資産	624	484
その他	360	1,012
貸倒引当金	△29	△34
流動資産合計	37,328	43,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,182	33,017
機械装置及び運搬具（純額）	4,699	7,142
土地	19,106	19,183
リース資産（純額）	175	305
建設仮勘定	1,937	1,195
その他（純額）	302	637
有形固定資産合計	51,403	61,481
無形固定資産		
のれん	696	924
その他	1,627	1,728
無形固定資産合計	2,324	2,653
投資その他の資産		
投資有価証券	4,993	5,151
長期貸付金	87	135
繰延税金資産	33	98
その他	1,465	1,439
貸倒引当金	△43	△123
投資その他の資産合計	6,537	6,701
固定資産合計	60,265	70,836
資産合計	97,593	114,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,515	6,074
短期借入金	5,145	10,003
1年内返済予定の長期借入金	2,201	2,972
リース債務	72	83
未払法人税等	1,398	451
賞与引当金	639	179
役員賞与引当金	30	22
その他	3,346	10,010
流動負債合計	19,348	29,797
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,000	7,000
長期借入金	11,470	15,904
リース債務	110	209
繰延税金負債	357	388
退職給付引当金	636	651
役員退職慰労引当金	331	365
資産除去債務	105	105
その他	73	73
固定負債合計	20,085	24,697
負債合計	39,433	54,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	35,335	36,338
自己株式	△521	△521
株主資本合計	56,989	57,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	855
繰延ヘッジ損益	5	△14
為替換算調整勘定	△39	△26
その他の包括利益累計額合計	700	813
少数株主持分	469	886
純資産合計	58,159	59,691
負債純資産合計	97,593	114,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	85,831	103,936
売上原価	77,531	95,045
売上総利益	8,299	8,891
販売費及び一般管理費	5,116	5,539
営業利益	3,183	3,351
営業外収益		
受取利息	15	10
受取配当金	88	92
助成金収入	3	46
保険配当金	29	28
固定資産売却益	43	2
その他	211	121
営業外収益合計	392	302
営業外費用		
支払利息	181	203
固定資産除売却損	55	46
その他	25	26
営業外費用合計	262	277
経常利益	3,314	3,377
税金等調整前四半期純利益	3,314	3,377
法人税、住民税及び事業税	1,351	1,249
法人税等調整額	△108	51
法人税等合計	1,242	1,300
少数株主損益調整前四半期純利益	2,071	2,076
少数株主利益	54	43
四半期純利益	2,016	2,033

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,071	2,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	786	120
繰延ヘッジ損益	75	△19
為替換算調整勘定	229	20
その他の包括利益合計	1,091	121
四半期包括利益	3,163	2,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,045	2,146
少数株主に係る四半期包括利益	117	50

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,314	3,377
減価償却費	2,598	2,759
のれん償却額	114	114
賞与引当金の増減額(△は減少)	△438	△459
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28	15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16	33
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	85
受取利息及び受取配当金	△104	△103
支払利息及び社債利息	181	203
売上債権の増減額(△は増加)	△1,254	△2,740
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,067	△3,951
仕入債務の増減額(△は減少)	2,207	△440
未払費用の増減額(△は減少)	△99	443
その他	675	△689
小計	8,305	△1,361
利息及び配当金の受取額	104	101
利息の支払額	△181	△192
法人税等の支払額	△533	△2,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,695	△3,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,677	△6,475
有形固定資産の売却による収入	413	18
投資有価証券の取得による支出	△3	△27
貸付けによる支出	△221	△66
貸付金の回収による収入	115	77
その他	△50	△158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,424	△6,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,036	4,854
長期借入れによる収入	2,676	7,082
長期借入金の返済による支出	△1,980	△1,879
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,034	△1,034
社債の償還による支出	△47	—
その他	△65	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,488	8,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△197	△1,317
現金及び現金同等物の期首残高	2,700	6,159
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	78
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,502	4,921

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,033	69,787	10	85,831	—	85,831
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,146	—	33	1,180	△1,180	—
計	17,180	69,787	43	87,011	△1,180	85,831
セグメント利益	3,819	669	11	4,501	△1,317	3,183

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,317百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,562	87,350	24	103,936	—	103,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,437	—	33	1,470	△1,470	—
計	17,999	87,350	57	105,407	△1,470	103,936
セグメント利益	3,919	955	25	4,900	△1,548	3,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,548百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。